



第21回
春日井市交響楽団
定期演奏会

2012年
7月8日(日)

開演15時(開場14時15分)

春日井市民会館

入場料 1000^(税込)円【全自由席】
※就学前のお子様の入場はお断りします

Program

ブラームス / 大学祝典序曲 ハ長調
チャイコフスキー / ロココの主題による変奏曲
ドボルザーク / 交響曲第8番 ト長調

指揮 岸本 沙恵子
チェロ独奏 アンドレアス・ティム

入場券：5月18日(金)より文化フォーラム春日井・文化情報プラザ、清水屋案内所、サンマルシェインフォメーションで販売
主催：春日井市交響楽団
後援：愛知県教育委員会、春日井市、春日井市教育委員会、(公財)かすがい市民文化財団、中日新聞社

お問い合わせ：春日井市交響楽団事務局【中部大学 渉外部内 9:00~17:00(平日) ☎ 0568-51-5250】

KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA



指揮
岸本 沙恵子
Kishimoto Saeko

神奈川県出身。幼少の頃より、ピアノを始める。
県立希望ヶ丘高等学校吹奏楽部にて、学生指揮者を務めたのをきっかけに指揮者を志す。
2003年3月洗足学園音楽大学声楽専攻卒業。
在学1年次より、同大学附属指揮研究所に在籍。ベーシッククラスを経て、2004年9月、マスタークラスを修了。
指揮を秋山和慶、河地良智、川本統脩の各氏に、スコアリーディングを島田玲子、西川麻里子の各氏に師事。
2003年7月より、東京指揮研究会主催の指揮セミナーにて、ウィーン国立音楽大学指揮科准教授の湯浅勇治氏に師事。
2007年、ローム・ミュージック・ファンデーション受講。指揮を湯浅勇治氏に、スコアリーディング・ソルフェージュを三石潤司氏に師事。
2007年、アフィニス音楽祭のオーディションに合格し、指揮研究員として参加。
同音楽祭にて、読売日本交響楽団正指揮者の下野竜也氏に指揮の指導を受ける。
オーケストラ、吹奏楽、合唱、オペラと幅広く活躍中。



チェロ独奏
アンドレアス・ティム
Andreas Timm

1975年ライブツィヒに生まれる。
ライブツィヒとリュウベックの音楽大学で学ぶ。その後、ザールブリュッケンにおいて、グスタフ・リヴィニウスに師事し、最高位で演奏家資格試験に合格した。
ドイツ国内の数々のコンクールで受賞後、2001年マルクノイキルヒェン国際器楽コンクールのチェロ部門で第2位となる。
同時にドイツ奨学金財団の奨学生となり、ハンブルグで研鑽を積む。
2002年ベルリン・コンチェルトハウス管弦楽団の準首席奏者に就任。また、ソリストとしても、様々なオーケストラと共演している。室内楽では、ライブツィヒ・ベルリンアンサンブルや、シュパンツヒトリオ、ゲヴァートハウス弦楽四重奏団との共演で人気を博した。
ラジオやテレビ放送のための録音も多く、ヨーロッパ各国および日本において精力的な演奏活動をして活躍中。
今回は、父のユルンヤーコプ・ティム(ゲヴァントハウス管弦楽団首席チェロ奏者)と共に来日。
2本のチェロの為のコンチェルト2曲(クレンゲル、ヴィヴァルディ)を名古屋、大垣でオーケストラと共演する他、室内楽のコンサートを、愛知・岐阜・新潟・静岡の各地で行う。

春日井市交響楽団

春日井市交響楽団は、ベートーヴェンの「第九交響曲」の演奏会を春日井市で開きたいという市民の思いから生まれました。1990年(平成2年)11月に創立され、市内の音楽愛好家を中心に、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として活動を始めました。愛称「カポ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる50名。私たちにとって最大の喜びは、一人でも多くみなさまに演奏会においていただき、音楽を聴く喜びとともにクラシック音楽が好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。また、「春日井の開かれた音楽の窓」となって国の内外の最高の音楽家との共演にも努めています。これからも、さらに、市民のみなさまに親しまれ、愛されるカポとして、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。